

学力状況の経年変化

—全国学力・学習状況調査の平均正答率から—

・全国調査における全教科・区分の平均正答率を合算したのち、全国比を算出してH19とH25の変化を比較した。
 【※対全国比＝各市町村の平均正答率÷全国の平均正答率】

・本資料の分類は、H19とH25の2点での各市町村の数値の変化のみを比較したもので、H19からH25までの7年間の推移を表したものではない。

・調査に参加した学校が小学校・中学校それぞれ1校のみの町村については掲載していない。

・全国調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、教育活動の一側面に過ぎない。

		平均正答率が H19 より上昇	平均正答率が H19 より下降
小学校	上位で変化 全国平均より	 島本町 箕面市 茨木市 吹田市 池田市 豊中市 熊取町	 豊能町 枚方市
	またいで変化 全国平均を	 大阪狭山市 高槻市 河内長野市	 能勢町 河南町 交野市
	下位で変化 全国平均より	 泉南市 寝屋川市 門真市 柏原市 和泉市 泉大津市 大阪市 摂津市 泉佐野市 堺市 大東市 松原市 羽曳野市 守口市	 太子町 千早赤阪村 富田林市 東大阪市 忠岡町 高石市 岬町 岸和田市 貝塚市 四條畷市 八尾市 藤井寺市 阪南市
中学校	上位で変化 全国平均より	 箕面市 吹田市 大阪狭山市	 島本町 池田市
	またいで変化 全国平均を	 茨木市 熊取町 高槻市 河内長野市 豊中市	
	下位で変化 全国平均より	 高石市 交野市 守口市 泉南市 泉大津市 摂津市 藤井寺市 四條畷市 大東市 寝屋川市 羽曳野市 泉佐野市 堺市 八尾市 松原市	 柏原市 貝塚市 門真市 阪南市 東大阪市 岸和田市 富田林市 枚方市 大阪市 和泉市